

千歳市教育委員会だより

# からふる



令和6年2月 冬号  
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

## アンカレジ市サンドレイク小学校訪問記

千歳市では、市内の小学校と、姉妹都市であるアメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市にあるサンドレイク小学校との交流として、お互いの小学校への訪問を平成4年度から計11回行っており、今年度、4年ぶりに、1月6日（土）～15日（月）の期間で、市内小学生15名がサンドレイク小学校を訪問し、交流をしてきました。

現地の小学生に混じっての授業体験等のほか、一週間の生活を共にしたホストファミリーとの思い出など、たくさんの貴重な経験をしました。



みんな元気に出発



ホストファミリーが空港で歓迎



巨大ボールを使った体育の学習



ホストファミリーとの思い出



歓迎集会でよさこいを披露



スケートリンクでの楽しい時間



お別れ集会での会食



空港でのホストファミリーと別れ



千歳に無事到着し家族と対面

今年6月にはサンドレイク小学校から18余名の児童たちが千歳に来ます。ホストファミリーを引き受けていただける方々、授業等の体験を引き受けていただく小学校にご協力いただき、あたたかく迎えたいと思います。

千歳市ホームページに「からふる」のバックナンバーを掲載しています。  
URL : <https://www.city.chitose.lg.jp/>

千歳市 からふる

検索



# 千歳市のコミュニティ・スクールについて

## コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールは学校運営や学校の課題に対して広く保護者や地域住民の皆さんが参画できる仕組みです。当事者として、子どもの教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支援する取組が充実するとともに、関わる全ての人に様々な魅力が広がっていきます。

## 取組の主なねらい

- ・地域の方々の経験を活かした学習支援などを通じて、地域の方々のやりがいや、子どもたちの学びの充実が期待されます。
- ・保護者、地域の方々と学校が顔が見える関係となり、保護者や地域の方々の理解と協力を得た学校運営が期待されます。
- ・子どもたちは地域の方々との交流を通じて、地域の一員としての意識の高まりが期待されます。

## みどり台小学校 セーフティコールの取組

若干雨の残るあいにくの天気でしたが、多くの保護者・地域の皆様にご協力をいただきました。この取組は、学校の課題の1つである、登下校時の児童の安全を守るための活動としてみどり台小学校運営協議会で話し合わせ、町内会や地域の企業の協力を得て実現することができました。子どもたちも、挨拶を通じて地域の方々と交流をする良い機会になりました。

地域全体で子どもたちの安全・安心づくりを行う、はじめの一步の取組とすることができたと考えています。



## みどり台小学校運営協議会 島津 静香 会長

みどり台小学校の通学路は新しい地域ということもあり、まだまだ危険箇所等の課題も多くあります。「子どもたちの通学路であるということをドライバーさんに認識してもらえよう、セーフティコールを行いましょう。まずは出来ることから。」と、この取組をスタートしました。地元町内会や周辺企業の皆様に協力を呼びかけたところ、朝の多忙な時間にもかかわらず、予想以上の多くの方々が趣旨に賛同し集まって下さいました。

### 「地域の子どもの安全を、地域で見守る。」

そしてまた、子どもたちも地域の一員として地域の大人と交流できる機会となるよう、今後もセーフティコールを継続していけたらと思っています。

# 千歳市・指宿市青少年相互交流事業

12月23日(土)～12月26日(火)の3泊4日で、鹿児島県指宿市の小学6年生15名が千歳市を訪れ、千歳市の小学6年生13名と5か月ぶりに再会し、交流を行いました。実際の相互往来による交流は4年ぶりとなります。(令和2年度～令和4年度はオンラインで交流を行いました。)

1、2日目は各家庭でホームステイし、3日目には全体交流として、北海道キッコーマン株式会社の工場見学や支笏湖での自然体験などを満喫し、夜はホテルグランテラス千歳で合同宿泊を行い、夏に結んだ友情をさらに深めました。



【1日目 歓迎式】



【3日目 支笏湖での自然体験】

# 学校の特色ある取組を紹介します！

## 北栄小学校 「地域と協力した教育環境の充実」

「ふれあい農園」、「図書ボランティア」、「水泳・スケート学習」など、多くの方々から北栄小学校の学習環境充実のために尽力していただいております。「ふれあい農園」は、種まき、苗植え、草取り、収穫と1年を通してサポートをいただきました。



作業後には、スイカやサツマイモなどを食べ、子どもたち・保護者・地域の方・職員が交流を深める貴重な場にもなっています。

先日は、秋に収穫した大豆を使って3年生が「味噌造り」に取り組みました。自分たちの育てた作物を食材にすることで、学習への意欲が一層沸きました。

## 支笏湖小学校 地域素材を活かした「ふるさと教育」ヒメマスの採卵体験

支笏湖小学校では、生活科および総合的な学習の時間に「ふるさと教育」の一環として、ヒメマスの採卵体験を行っています。今年度は、11月上旬に支笏湖漁業協同組合を訪問し、職員の方にご指導をいただきながら、全校児童一人一人が、生きたメスのヒメマスから採卵



を行い、その卵にオスの白子をかけて受精をさせる体験を行いました。

受精卵は、学校の廊下に設置された水槽の中で、今後1年弱の期間、飼育と観察を行い、次年度の秋に放流を行います。今後も、支笏湖地域の貴重な自然環境を教育資源とし、地域の皆様にご指導いただきながら、「地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域から学ぶ」ふるさと教育の充実を図っていききたいと思います。



## 千歳中学校 ～生徒会いじめ撲滅に向けた主体的な取組～

千歳中学校では、いじめ撲滅に向けて、生徒会が主体的に取り組んでいます。代表委員が学級会をリードする形で進めた「いじめを考える道徳」では、「ことば」が引き起こす感情に気付くことができるよう話し合いを深めるとともに、「ほんわか宣言」をメッセージカードに書き、それを「みんなのほんわかの木」として掲示しました。

その後、第二弾として行った「いじめ撲滅学活」では、いじめのない学級（学年・学校）を目指し、いじめゼロに向けた学級決意文を考えました。これらの取組においてのみならず、他の教育活動においても、「他者と思考を共有し、練りあい、新たな考えや発想を生み出していく」過程を通して、主体的に考え、協働的に学びを深めています。



## 多くの企業や団体から寄贈をいただきました！

株式会社戸田運輸様から、小中学校3校へ吹奏楽部等で活用する楽器を、千歳中央ライオンズクラブ様から、中学校6校へ美術部用品を、公益財団法人札幌南法人会千歳支部様及び千歳青色申告会様から、市内の全中学1年生を対象に「税ノート」を寄贈いただきました。



メジャーリーグで活躍をされている大谷翔平選手からは、全国の小学校等へジュニア用グローブの寄贈があり、千歳市でも1月に全小学校に寄贈いただきました。



また、道央農業協同組合様からは、市内小中学校給食用として学校給食センターへJA道央産米「う米蔵」を寄贈いただき、12月4日～5日の学校給食で子どもたちに提供させていただきました！

# さいきんのわだい

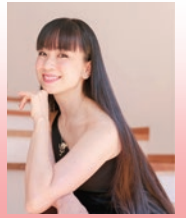
## 令和5年度第5回市民教養セミナーを開催します！

日時：令和6年3月1日（金）18時30分から20時00分まで  
会場：北ガス文化ホール3階 中会議室2  
講師：田中 希氏  
（OKAOキントレSTUDIO OAKO 代表）  
演題：「心も顔も若々しく健康になるOKAOキントレ」



表情筋トレーニングを通し、より良い視覚的コミュニケーションの方法について学びます！

◀詳しくはこちらをご覧ください



## 各種スポーツ大会で子どもたちが大活躍しています！

千歳空手道スポーツ少年団に所属する、向陽台中の松原さん、泉沢小の市川さん、千歳小の伊藤さん、向陽台つくし幼稚園の金坂さんが、10月に開催された「KWFワールドカップ」に出場し、優勝等輝かしい成績を収めました。

また、千歳小の安田さん、小林さん、モーリンスさん、引地さん、祝梅小の齋藤さん、藤原さんが所属する早来アクティブバレーボール少年団が、1月に開催された「北海道小学生バレーボール大会選抜優勝大会」へ出場しました。



## 学校給食で特別メニューを続々と提供しています！

昨年、大好評だった「揚げパン」を今年も提供することができました。子どもたちから「おいしい！」の笑顔をいただきました。また、学校給食週間に合わせて、航空自衛隊千歳基地に取材を重ね、さらにこだわり食材をふんだんに使うことで完成させたコラボ「キーマカレー」（写真）も提供し、普段とは一味違ったカレーを楽しんでもらうことができました。これからもワクワクさせるメニューを考案していきます。



# わたしのおすすめ図書～学校司書さんに聞きました～

〈千歳第二小学校 担当司書 荒川 明子さんおすすめ〉

## 「こころのねっこ」

読売新聞生活部 監修／中央公論新社

2017年1月から2021年12月までに『読売新聞』の「子どもの詩」に掲載された作品の中から220編の詩をまとめた本です。未就学児から小・中学校の子ども作品は発想が自由で、大人には想像もつかない様なのびのびとした詩が収められています。

思わず笑ってしまうものから、コロナ禍に書かれた涙がにじんできるとようなものまで多種多様。各詩の頁下に書かれている選者のツッコミのような書評も秀逸。

ぜひ、ご家庭で子ども達と一緒に読み、クスッと笑いながら読み楽しい時間を共有して頂きたい一冊です。



〈支笏湖小学校／北斗中学校 担当司書 白川 美由紀さんおすすめ〉

## 「トットちゃんの15つぶのだいず」

柏葉 幸子 文、松本 春野 絵／講談社

トットちゃんこと黒柳徹子さんのもうひとつのおはなし。「トットちゃんが、小学2年生のとき。日本は戦争をはじめました。」からはじまります。

食べるものがなくなり、一日の食べものは炒った15つぶの大豆だけ。大豆をもって学校へ行ったトットちゃん、授業中に空襲警報のため防空壕へ。そこでトットちゃんはいつ大豆を食べるか悩みに悩みます。

戦争を描いていますが、柏葉幸子さん、松本春野さんの文と絵がやさしく、小さいお子さんにも安心して読んであげられる絵本です。



# 末広小学校 ～私たちの単P活動～

『児童の健全な育成を願い、保護者と教職員が一体となって諸活動を推進する』末広小学校PTAです。会員全員が、花壇・図書整理、児童トイレ・校舎窓拭きなど環境を整える活動または、学年レクや広報誌作成、読み聞かせや登下校指導、ヘルマーク集計、運動会補助といった子ども

たちが安心して学校生活を送ることができる活動を行っています。また、札幌市などでの研修会にも会員の皆さんが積極的に参加しています。今年は、市内ソフトボール大会に富丘中学校や高台小学校との合同チームで参加し、2大会連続の優勝を収めることができました。ポーリング大会では、他校の仲間たちと交流を深めることができました。おやじ有志による校地内側溝さらいなど、横のつながりを強め大きな輪を作り、子どもたちの未来を応援する活動を今後もつなげていきます。



編集・発行 千歳市教育委員会（千歳市役所第2庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話：0123-24-0819（直通）

■FAX：0123-27-3743

■E-mail：kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL：https://www.city.chitose.lg.jp/